

# 木業通信

## 令和7年 商売繁盛と安全祈願祭

例年十月初市に行っておりました商売繁盛と安全祈願祭ですが、雪の影響により月末市に変更し執り行いました。安全祈願祭での弊社、伊東のあいさつは次の通りです。

新年あけましておめでとうございます。令和7年 商売繁盛と安全祈願祭の開催にあたりご挨拶申し上げます。昨年を振り返りますと、2024年は1月1日より石川県における震度7の大地震が発生し悲しみの中での年明けとなりました。

弊社におきまして、1月8日に前代表取締役 林 雅文が急逝しました。波乱の1月でございます。また、長年お世話になったお客様も急



逝され喪失感のある1年でございます。林業木材業界に目を向けますと、住宅価格の高騰や住宅着工戸数の減少などが製品商況に影を落とす中で国産材利用の加速化や原木の供給不足により原木商況は安定しております。

このような中であって、安定供給システム販売を軸としたサプライチェーンの構築は効果を発揮し安定価格・安定数量での取引を継続することができました。

サプライチェーンを構築する関係各位のご尽力に感謝申し上げます。さて、2025年は乙巳きのとみの年でございます。乙巳きのとみは成長の兆き(こし)や発展・転換を象徴しております。

そのことから2025年は、変化と新たな挑戦のエネルギーが高まる年とされています。



2月号  
Vol.139

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木業会事務局  
〒八四九一-二五二  
佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇  
TEL 〇九五五-二〇二二八三 (代表)  
FAX 〇九五五-二八二八五五

木材業界にも変化の波が訪れます。特筆すれば建築基準法の改正が本年4月に控えており木材業界を取り巻く環境は否が応でも大きく変化すると考えられます。

このような中にあり、弊社といたしましてはサプライチェーンの構築を通じ変化化する社会情勢や需要に対応し新たな挑戦をしていきます。

環境分野に目を向けますと、国が掲げる2050年カーボンニュートラル目標に対しちょうど半期が過ぎる年となります。

国内林業に対する木材生産と二酸化炭素吸収源としての期待はさらに高まっております。

そういった中で我々は森林整備をさらに推進し木材の利用と再造林を両立した事業を継続して参ります。

これらの取組は、決して単独ではあり



ません。健康と安全がそろうてこそ挑戦する気力が備わります。安全祈願祭を通じ安全意識を高めていただければ幸いです。

最後になりますが、本日ご列席の皆様のご健勝とご安全を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

年始のお忙しの中に  
ご参加いただきました  
会員の皆様にはお礼申し上げます。

今年も一年間、会員の皆様の商売繁盛と事故の皆様の無きよう故、お怪我の無いよう  
にお祈りいたします。



# 木材動向①

## ◎素材

1月全社素材取扱量は46,300m<sup>3</sup>、前年対比89%の取扱いとなりました。

1月に入り出材は増えてきたものの九州北部、中部エリアを見ても未だ原木不足の状況にあり、原木価格は高値を維持しています。出材状況を見ると来月の値上がりはないような雰囲気になっております。

1月は造林補助申請等もあり、多くの出材をいただきましたが、自社山林を大量に残す形となり素材部として反省点となりました。

### 市売価格としまして

- 桧丸太は、4m161-8cm直 24,530円/m<sup>3</sup> 4m161-8cm小曲 23,890円/m<sup>3</sup> 4m200-2cm直 24,700円/m<sup>3</sup> 4m200-2cm小曲 23,700円/m<sup>3</sup> でした。
- 杉丸太は、4m141-6cm直 16,000円/m<sup>3</sup> 4m141-6cm直 15,000円/m<sup>3</sup> 4m180-2cm小曲 13,000円/m<sup>3</sup> 4m242-2cm直 15,000円/m<sup>3</sup> 4m242-2cm小曲 13,000円/m<sup>3</sup> と、価格は安定しております。

「出荷、誠に有難うございました！」  
2月の出材状況は杉松共に先月に引き続き入荷は増える見込みとなっております。1月末時点で未整理材が3,400

m<sup>3</sup>あります。2月に向けて良いスタートはきれますが、2月までは雪の影響が心配されます。一度大雪が降ると数週間山からの搬出が困難になる事も予想されますので先ずは入荷している分を残すことなど2月28日市に向けて準備を行って参りますので、来市をお待ちしております！

造材につきまして杉松ともに基本的に4mをおすすめしております。未だ余尺の長短がございます。余尺10cm程度での造材をお願いいたします。

優良材の元木については余尺が+20cm~30cmつけた方が販売しやすいので、協力のほどよろしく、お願いいたします。

造材について不明な点などございましたら素材部へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

素材部一同、安定供給、安定販売を努めてまいりますのでより一層の協力のほどよろしく、願ひ申し上げます。  
(本社素材 T課長)



## ◎製品

プレカット工場は順調に受注しており、2月までは仕事が確保できていますが、その後見通しが不透明です。今年4月から4号特例縮小が控えており、6月以降の仕事量の減少が予測されています。住宅着工の減少を見据えて、非住宅分野の加工量増加を目指すプレカット工場が多くなっています。

### 1月の当市場の相場は、

- ヒノキGR土台 1等上 4m105X105 5,500円/m<sup>3</sup> 前月比△63,000円/m<sup>3</sup> 前月比△5,000円/m<sup>3</sup>
- ヒノキGR土台 1等上 4m120X120 5,500円/m<sup>3</sup> 前月比△63,000円/m<sup>3</sup> 前月比△3,000円/m<sup>3</sup>
- ヒノキKD土台A 4m105X105 10,000円/m<sup>3</sup> 前月比△3,000円/m<sup>3</sup>
- スギGR母屋角 1等上 38,000円/m<sup>3</sup> 前月比△4,000円/m<sup>3</sup> 前月比△6,000円/m<sup>3</sup>
- スギKD母屋角特 1 65,000円/m<sup>3</sup> 前月比△68,000円/m<sup>3</sup> 前月比△6,000円/m<sup>3</sup>
- スギGR平角特 1 4m105X150 18,000円/m<sup>3</sup> 前月比△4,000円/m<sup>3</sup> 前月比△4,200円/m<sup>3</sup>
- スギKD平角特 1 4m105X150 18,000円/m<sup>3</sup> 前月比△4,000円/m<sup>3</sup> 前月比△4,200円/m<sup>3</sup>
- スギGR小割 (30X45, 45X45, 45X60) 特1プレナー 48,000円/m<sup>3</sup> 前月比△53,000円/m<sup>3</sup> 前月比△45X105
- スギGR間柱 (30X105, 45X105) 特1プレナー 52,000円/m<sup>3</sup> 前月比△58,000円/m<sup>3</sup> 前月比△2,000円/m<sup>3</sup>
- スギ野地板 2m12X小幅 33,000円/m<sup>3</sup> 前月比△3,000円/m<sup>3</sup>
- スギKD柱 3m105X105 A品

72,000円/m<sup>3</sup> 前月比△2,000円/m<sup>3</sup>

スギKD間柱 (30X105, 45X105) 72,000円/m<sup>3</sup> 前月比△75,000円/m<sup>3</sup> 前月比△3,000円/m<sup>3</sup>

スギAD間柱 (30X105, 45X105) 64,000円/m<sup>3</sup> 前月比△2,000円/m<sup>3</sup>

スギKD小割 (30X45, 45X45, 45X60) 68,000円/m<sup>3</sup> 前月比△6,000円/m<sup>3</sup> 前月比△6,000円/m<sup>3</sup>

年明け以降製品の荷動きについては、昨年12月と比較して若干良くなったものの、丸太高製品安の為に先行きは不安視されています。今後は構造材、羽柄材等の製管の値上げ交渉を行っている所が出てくると思っております。木材が通る状況ではないと思えます。木材以外の価格が上昇し、製品のみ弱含んできたことが問題視されています。今後も住宅着工数の減少は続く見通しされています。

### (製)建設 U

営業所だより

南九州営業所

木栄会通信を「愛読」の皆様、早いもので2025年も1カ月が経過しました。そろそろ花粉が飛散する季節となり花粉症の方にはつらい時期となりますね。全国的に少花粉の苗木が植栽されるようになりつつありますが、結果が表れるのはまだまだ

先になりそうです。もうしばらく寒い日が続きますのでインフルエンザ予防や花粉症対策など、体調管理に努め健康第一で過ごしていただけると幸いです。

さて、南九州営業所の2024年を総括すると原木集荷に苦戦する1年となりました。山工場選別を行い製材所へ直送する山直事業や山から港へ直送する輸出事業など、市場を必要としない流通や販売経路に対して改善策を打てず1年が経過してしまつたと反省しています。

2025年はサプライチェーンマネジメントの一環として、きつまファインウッドへの供給を絡めた製材所様との新たな取り組みが始まり、昨年苦戦した集荷への取組みが最重要課題となりそうです。第二工場の運用に関しても製材所様から提案をいただき、タッグを組むことにより取扱い材積の大幅な増量が見込めるようになります。

そんな中、新たな取り組みとして南九州営業所の運営に多大な協力をお願いしている森栄会会の素材生産業者様や一般出荷者の皆様のご買取価格を見直してはどうかと思ひ立ち、個別の価格設定を行えるよう検討を始めた。近隣の市場を含む競合他社に負けないようお客様に満足いただけるような営業所の運営に努めて参ります。合わせて第二工場では選木委託を始めました。まだまだ手探り状態ですが、山工場での選別が困難だつたり直送したいけど

選別の時間が無いなど、お客様の都合に合わせて第二工場を活用して頂けるかと有難く思います。お客様に満足して頂くためにできる事は何でもやるうと思ひますので気軽に声をかけて頂けるかと嬉しく思ひます。

南九州営業所は2025年4月以降人事異動などにより人員も大きく入れ替わります。初めは戸惑う事もありお客様にご迷惑をお掛けする事も多々あるかと思いますが、所員一丸となりお客様に満足いただける1年にしたいと思つております。引き続きご指導ご鞭撻と変わらぬお付き合いを宜しくお願ひいたします。

(南九州営業所 C所長代理)



先日、平成33年の台風被害によりすべてが風倒木になり、平成5年に植林されたある町有林の調査をしました。原木市場の植林担当として目標と言ふものでした。

ヘクタール当たり約500本のスギがきつたりと植えられ、密植であるにも関わらず、平均の胸高直径は26cmと揃い、平均樹高が5mと十分に成長していました。

このような密植・無間伐造林のメリットは、樹高に対し胸高直径が大きくなりすぎないこと、面積あたりの収穫が多いこと、広葉樹や樹下植生等が少な

この方法を踏襲できる条件は、地力があること、密植しても曲らない品種であること、均一な性質の苗を揃えることができること、そして補助金で不足するであろう苗代金を負担できることかと思ひます。

いまは伐採作業には高性能林業機械が用いられることが増え、山林の間際までトラックを付けるということも珍しくありません。加えてここ数年の木質ハイオクマ発電所の増加により、搬出できない丸太が山に残ることが少なくなり、地摺えの柵も小さくなってきています。

植林をする造林者も、高性能林業機械が入っている山では、近くまで軽トラックで行き作業することができています。100年以上育つスギ品種を植え、定期的に間伐をし、広葉樹を導入する美しい森林づくりも素晴らしいのですが、長期に渡り管理していく後継者を育成し、残りの木を傷つけない高度な間伐技術が必要です。

ヨーロッパの森林は、原生林や自然林、長期経営を目指す針広混交林、木材生産主体の経済林はゾーニングされていると聞きます。

日本の少ない国土を有効に利用し、高品質な国産材を生産する。そのためには、いま普及されている山林は、また次の時代に使われる木材を生産できる山林として引き継ぎたい。我々、原木市場の社員としては木材生産主体の経済林をどう作っていくかという技術を磨

いくべきだろうと考えています。高品質な素材という概念は、時代に合わせ変化していくものですから、おそらく40年後の未来には、人口が減り製材機械や林業機械はさらに改良され高度精度と効率が良いものになっていることでしょう。そうすれば原料である木材には、いまよりもさらに供給される量と品質が安定していることを求められているのではないかと想像できます。少ない担い手が、すぐに供給できるよき、皆伐ありきの密植施設という選択版も如何でしょうか。

森林所有者の方へ、地質や地形、地域性を考慮して適正樹種を提案できるよき、事例検討を重ねていきます。

(大分 森林整備 K課長)



5月30日のごもの目に向けて、鯉のぼり用の竿はいかがでしょうか？

当社ではのぼり材の注文を承っており2月末より入荷が始まります。ぜひ、お問ひ合わせください。

【のぼり竿 問ひ合わせ先】  
0800-647116-11

製器部

浦



# 木材動向②

## 住宅着工統計

2025年1月より発表  
1月分/出典・森山田事務所

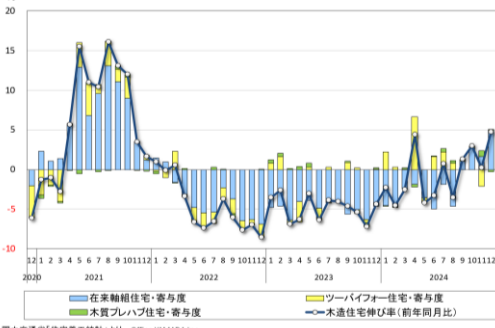
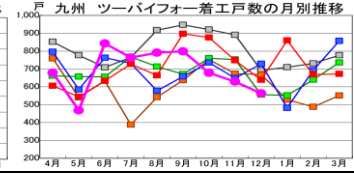
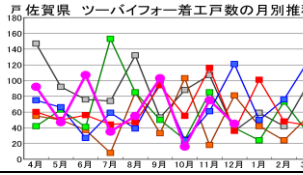
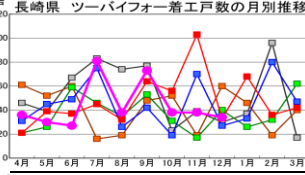
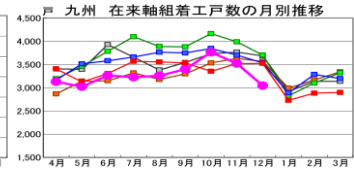
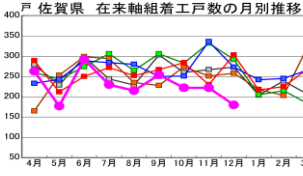
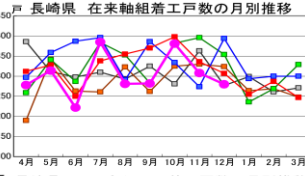
◆概況コメント  
1・2月の新設住宅着工は、持家貸家が増加したが、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比2.5%の減少となった。また、季節調整済7千率換算値(781.6%)では前月比1.6%の増加となった。

全国工法別				
	木造	在来	2×4	木質I/F工
戸数	37,409	29,455	7,156	798
前年同月比	4.7%	6.4%	0.1%	-11.0%

●木質工法  
別に見ると、前年同月比で木造が4.7%の増加、在来軸組が6.4%の増加、ツーバイフォーが0.1%の増加、木質プレが1.0%の減少となった。

全国利用関係別				
	合計	持家	貸家	分譲
戸数	62,957	17,821	26,424	18,182
前年同月比	-2.5%	4.6%	2.1%	-14.7%

◆九州地区と佐賀県の在来軸組及び、2×4着工数グラフ  
九州地区の令和6年1・2月の新設住宅着工戸数及び、前年同月比は、それぞれ、九州地区6,175戸(12.9%減)、佐賀県3,744戸(39.6%減)、長崎県3,717戸(7.9%減)といずれも減少となった。  
グラフ表記は令和6年度(令和6年4月〜令和7年3月)



左図は構造別のうち「木造」を細分化し、前年同月比と寄与度を表したものの。図の中の折れ線グラフの木造住宅伸び率が注目して頂くと、2024年は浮き沈みがあるものの全体的には右肩上がりに推移しているのがわかる。  
※寄与度とは、  
経済統計や指数数などの全体の変化に対し、個々の要素の変化がどの程度の影響を与えたかを示す数値。寄与度が大きければ大きいほど、当該要素が全体の变化に強い影響を及ぼしていることを意味する。  
※寄与度の求め方は？  
寄与度Ⅱ(前年の支出シニア)×(対前年成長率) ※支出シニアは前年のものであることに注意！

毎月、山田設計事務所様から配信されるグラフの中で、今回初めて、「構造別住宅着工・前年同月比と寄与度の推移(全国)」グラフを載せてみました。木造住宅伸び率をみて、木を使う建物がさらに増えていけばいいなという思いもあつて掲載しました。恥ずかしながら新しい言葉もわかりました。「寄与率」なんとなく意味がわかりますが、はっきりと説明できず、一応、前述の分は用語集から抜粋しています。(その他)、製材関連、木材関連の留易統計グラフなどもあり、会員の皆様のご興味あるところを掲載していければと考えていますので、こいつのが見てみたいというのがあれば、ぜひリクエストして頂ければと思います。

編集後記

3月の市日/締日のご案内

締日：3月11日(火)

市日：3月28日(金)